

日刊 動労千葉

79.1.12
No. 5.

国鉄動力車労働組合

千葉市要町二一八(労働組合会館)
(鉄電)二二五八七九(公衆)043(22)七一〇七

1月100名組合員・家族は総結集せよ!

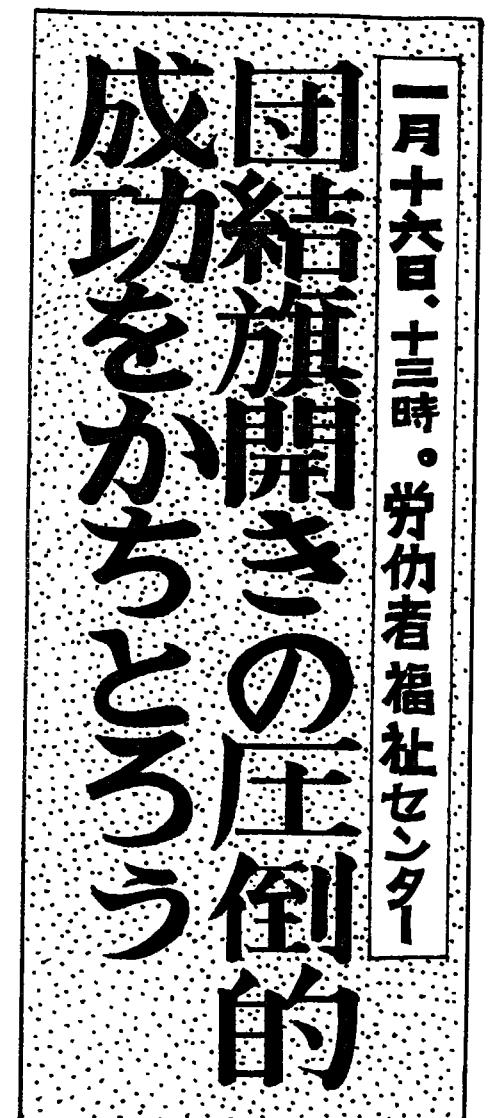
理不尽極まる千葉地本排除!組織破壊策動は、第一〇一定中後、第二四回全国青年部長会議を頂点に、さまざまの形でしかられてきている。七八年十二月段階における千葉地本無視のこれらの策動は、もはや問答無用で、実力的に、物理的に千葉地本を排除しようとする意図がむき出しであり、われわれは怒りをこめて、断固とした組織の存亡をかけた闘いに決起した。

一月十六日十三時、労働者福祉センターにおいて開催される「一九七九年労働千葉団結旗開き」は、このわれわれの決意を満天下に明らかにするための場として、決定的に重要な位置を占めている。

一四〇〇名組合員・家族の総決起をもって、圧倒的な高揚をかちとつてゆかなければならぬ。

労働者・人民の眞の勝利へ向けた闘い

具体的な取り組みについてはすでに地本指示第三一号、三二号で明らかにした通りであるが、この間、千葉地本一四〇〇名組合員・家族が、三里塚・ジェット闘争を果敢に闘いぬくことを通して、強固な労農連帯を創りあげ、戦闘的労働運動の再生の方向性を内外に明らかにしつゝ、労働者としての大義を守り抜くために、各支部執行委員会を中心に各級役員、活動家をはじめとした一大奮起を要請する。われわれがこの間の「三里塚・ジエット闘争」「階級的組合民主主義確立の闘い」「水本」「貨物安定宣言」等々の闘いの中でも主張してきたことの正義性は、いまや満天下に明らかであり、われわれの闘いは、日に日に戦闘的労働者・人民の中へ拡大している。このことに恐怖するが故に、労働内外からの「革マル」をはじめとする反動と権力の弾圧志向はますます強まつてきている。



◆ 全国の戦闘的労働者・人民とともに
決起しよう、

反動と弾圧を粉碎することなしに眞の勝利はあり得ない。
われわれは労働者・人民の眞の勝利へ向つて闘つているのだ。
この闘いの正義性に対する自信と確信、勝利への意気込みを、団結旗開きの圧倒的成功によつて示そではないか。

【第一部・講演と基調報告
第二部・連帯のあいさつとアトラクション】

一九七九年団結旗開きは、

「全組合員・家族の強固な団結で千葉地本破壊攻撃を粉碎せよ!」

「労農連帯を一層強め、三里塚・ジェット闘争を貫徹しよ!」

をスローガンとして、第一部・講演と基調報告、第二部・連帯のあいさつとアトラクションによつて展開される。

千葉市天台地区家族懇談会

日 時 一月十四日(日) 14~17時
場 所 国鉄天台集会所 18~20時

誘い合つて、積極的に参加しよう!

第一部は、十三時より小西誠氏(自衛隊三等空曹)を講師として「有事立法とは何か」ということについての講演を受け、続いて、地本・中野書記長より当面する情勢と闘いについての基調報告が行なわれる。

第二部は十五時三〇分より各界からの連帯のあいさつと組合員・家族、来賓からのアトラクション、余興も織りませ、コモカブリの鏡開きと乾杯も含め、なごやかな雰囲気の中で闘いへの英気をやしなつてゆく趣向が計画されている。

そして、この団結旗開きには三里塚・芝山農民、県労連・各地区労傘下の戦闘的労働組合、社会党、支援共闘の仲間等々、

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!